

更生保護法人 広島県更生保護協会

会 報



“麗わし”

光風会評議員 北 田 和 広 画

丁度一〇年前広島で二年間勤務しました。当時更生保護協会では、一億円基金造成に取り組まれており、当時の岡本繁理事長とともに、更生保護の説明のために県下の各企業を訪問したことを懐かしく思い出します。

広島を離れ、近畿、九州、四国と回ってまいりましたが、全国津々浦々で、様々な方々が、更生保護の諸活動に献身的な努力をされている姿に触れ、感激の連続でした。一方、神戸市、大阪府池田市、長崎市などでのショッキングな事件を身近に体験することとなりました。

社会のひずみは益々大きくなり、子どもたちの心に反映しています。この中で、更生保護に対する国民の

小さな善意を集めて 大きな力に



広島保護観察所

所 長 白 濱 謙 吉

期待は、益々大きくなってきていますが、これに応えるためには、更生保護に対する人々の理解と援助を得る必要があります。

更生保護協会の活動は、経済不況下で、なかなか困難だと聞いています。しかし、こういう時代だからこそ、多くの人々が、更生保護に理解を示し、応分の寄与をすることが必要になっていくといえます。自らの周りの一人一人に訴えかけ、小さな善意を集めることにより、一人でも多くの人々を更生保護の活動に参加させ、大きな

な力にしていこうではありませんか。微力ながらも協会の皆様と一緒に努力したいと思っています。

特別寄稿

現場に神宿る

元最高検察庁検事 福井大海



- 一 保護観察対象者によって惹起される無差別殺傷事件。マスコミの報道は、センセーショナルであり、保護観察が役割を果たしていないと手厳しい。しかし、地域密着型の保護は、日本人の人情を礎とした伝統文化。一層の充実のために、もう一步前へ進みたい。保護司活動は、保護区域内に限定されていることを承知し、地域社会の浄化・社会奉仕の精神に満ちている保護司の方々に深い畏敬の念を表しつつ、二つ提案をさせて下さい。
- 二 その一は、被害者とともに泣く保護司。
- 従来、保護司は、対象者に真摯に向きあい、ともに泣くところから更生の道を探ってきた。しかし、癒しがたい心痛の只中にある被害者やその遺族と、保護司が面会することとは少なく、被害者側の立場から対象者を立ち直らせる配慮に欠けていたように思います。犯罪者の真の遷善は、犯罪者、保護司の連携はもとより被害者の協力を得た三者構造によってのみ可能となる。犯罪者が長い年月の後、遺族の「許し」により更生したと歌う「さだまさし」氏の曲「償い」が思い出されます。
- 三 その二は、犯罪現場に立つ保護司。
- 保護司は、悩んだら、まず、犯罪現場に立つてみるべきだと思います。犯行直後の生々しさは消えているとはいえ、現場特有の空気、温度、光に醸し出される雰囲気の中に身を置き、沈思黙考、心眼を開けば、その場にいた犯罪者の喜怒哀楽、心の有様、いわば、犯罪者の苦悩の痕跡を感じ取ることができる。人の業という原点が見えてくる。現場には、神が宿る。そう思います。(広島県更生保護協会 副理事長)

広報活動

一六年度／本年五月まで

広島市内の各ロータリークラブ例会に出席し、更生保護啓発にご協力いただいた。中地区保護司 大下延子氏・前中国地方更生保護委員会委員長 清水和夫氏・前広島保護観察所長 山口透氏・前広島地方検察庁検事正 中井憲治氏・広島地方検察庁総務部長 渡邊清氏・中国地方更生保護委員会委員長 佐藤繁實氏・広島保護観察所長 白濱謙吉氏



更生保護会館(不動産)の取得について経過報告

平成一六年度第一回理事会、評議員会において、承認のあった不動産の取得について、広島市内中心部に最適な土地付き中

古ビルが見つかり、平成一六年一二月に入札。結果、落札できなかった。引き続き検討を進めていく。

〈検討委員〉 大田哲哉(広島電鉄(株)代表取締役社長)・林正夫(県議会議員)・赤羽克秀(公認会計士)・豊島重文(前代議士秘書)・前京子(瀬戸内観光ホテル社長)・広島電鉄(株)不動産カンパニープレジデント・その他

ロータリー

クラブから表彰

本年五月二五日ホテルグランヴィア広島にて、次の三氏は更生保護事業に対する功績を評価され広島東ロータリークラブ会長野村浩氏から表彰された。



谷本 憲昭氏
(安佐南地区 保護司)



村上タツ子氏
代理 松垣三子氏
(東広島地区更生保護女性会会長)



兼田 祐美氏
(BBS会員)

篤志寄附者

平成16年4月1日～17年3月31日

広島電鉄(株)	100,000	若林定雄	80,000	東食糧企業組合 (代)久保田宏温	30,000
(株)広島銀行	100,000	ひろしま国際ホテル (代)今井 誠則	500,000	大栄電業(株) (代)貫名 賢	30,000
(株)ザ イ エ ンス	100,000	広島ガスリビングインフォ メーションプラザL I P	300,000	(株)中 博 建設 (代)中村 博房	30,000
中国電力(株)	100,000	宮 本 克 彦	50,000	和 田 庸 子	30,000
(株)も み じ 銀行	50,000	横 田 典 章	30,000	安部税理士事務所 (代)安部 憲明	80,000
(株)中 電 工	100,000	光 田 鈔	30,000	(有)高 野 食 品	10,000
マ ッ ダ (株)	100,000	広 島 ガ ス (株)	100,000	津久江 一 郎	10,000
広島ガス(株)	100,000	櫻 井 創 造	100,000	(株)中 尾 鉄 工 所 (代)中尾 建三	80,000
(株)フ ジ タ	100,000	松 浦 貢	100,000	広島ガスプロパン(株)	10,000
(株)中国新聞社	100,000	ミスズガーデン(株) (代)三島 正義	60,000	井 町 重 遠	30,000
リ ョ ー ビ (株) (代)浦上 浩	50,000	金本公認会計士事務所 (代)金本 善行	30,000	寺 山 壽 範	30,000
福 原 久 泰	20,000	前田ハウジング(株) (代)八木 修造	200,000	佐々木 良 子	180,000
廣 永 和 子	50,000	(医)豊永会 小林医院 理事長 小林 道男	200,000	広島ガスショップ会	30,000
(株)東映ゴルフ倶楽部 広島東映カントリークラブ 常務取締役支配人 寺川 清	10,000	松 岡 光 則	200,000	岡 本 忠 勝	30,000
中 曾 義 孝	20,000	開 原 和 子	200,000	福 井 大 海	100,000
中 曾 マリコ	20,000	前田土建工業(株) (代)前田 康光	50,000	広 島 電 鉄 (株) (代)大田 哲哉	100,000
(株)シンコー (代)筒井 敷三	100,000	藤 井 守 男	200,000	(株)瀬戸内観光ホテル (代)前 京子	200,000
広島県遊技業協同組合 理事長 池田 仁志	80,000	山 本 昌 行	200,000	(株)ふ る が い ち (代)田中 研一	30,000
江波沢崎産婦人科医院 院長 沢崎 衛	100,000	森 島 忠 昭	200,000	赤羽公認会計士事務所 (代)赤羽 克秀	30,000
(財)多山報恩会 (代)増井 清	700,000	高 橋 宏	200,000	広 島 駅 弁 当 (株) (代)中島 和雄	80,000
(株)農協プロパンセンター (代)関城偉都穂	30,000	島 田 貞 登	30,000	広島県共同募金会	700,000
菱 光 産 業 (株) (代)吉田 愷忠	80,000	北 田 和 廣	200,000	そ の 他 268 件	2,151,000
関 城 偉 都 穂	30,000	安芸教区仏教婦人連盟 (代)米田 恵子	500,000		
(社)呉交通安全センター (代)下竹 勇夫	300,000	(株)シ ン ギ (代)田中 幸夫	80,000		
		ウエノヤビル (代)上野谷吉禮	30,000		

順不同・敬称略 (単位 円)

ご遺族からのご寄附

10万円 木村三重子氏のご遺族 木村 裕氏(東京都)から

10万円 下石 照生氏のご遺族 下石好子氏(広島市)から



左から 前中国地方更生保護委員会部長 宮内 利正
前広島地方検察庁総務部長 吉田 幸久
前広島地方検察庁検事正 中井 憲治
広島県更生保護協会理事長 筒井 数三

北田和広画伯によるヨーロッパならびに広島近郊風景画の展示三〇点。オープニングに前広島地方検察庁検事正中井憲治様をはじめとし、多くの関係機関・団体の方々の参加を得て開幕。



平成一六年九月一日
〇日広島国際ホテルにおいて、広島県総務企画部管理室長梶田慎二様・広島商工会議所専務理事藤井昌平氏等を招き、安芸教区教務所長池谷亮真氏同婦人会連盟会長米田恵子氏やそ



更生保護懇談会 並びに 感謝の会開催

大臣感謝状・中国地方更生保護委員会委員長感謝状の伝達をした。

の他広島ガス(株)をはじめとする当会支援企業等四〇名近くの参加者とともに和やかな懇談を行った。席上当会理事長は平素の支援に対するお礼を述べた。前広島保護観察所長山口透氏は篤志寄付者に法務



左から 夫哉三 透正
田井口 浅
林大 山
理事長 長
副理事長 長
副理事長 長
当会 会
当会 会
前広島 会
前広島 会

新築された施設ウイズ広島を見学し、同施設理事長浅尾幸正氏並びに呉清明園平原正敏理事長を交え懇談した。なお、当会の関係者は初めての施設訪問の者が多く、対象者と寝食を共にした職員の苦勞を改めて感じた。席上当会の筒井理事長は、両施設に助成金一四〇万円と入居者用の下着を贈呈した。

更生保護施設 ウイズひろしま訪問・ 施設との懇談会

平成16年11月4日



本年2月25日 ホテルセンチュリー21広島ホールにおいて開催された。

モンゴルの歌手オユンナ氏「ヒロシマの少女の折り鶴・天の子守唄」・朗読山口由里子氏「青いナムジル」・馬頭琴ライ・ハスロー氏による「草原の夢・天馬ジョノンハル」等の素晴らしい演奏は、会場を埋めつくした人々に、大きな感動を与え、盛会裡に終了した。



当会谷川和穂会長 (社)全国保護司連盟会長に就任

平成16年12月1日付けで就任。当会では就任記念懇談会を12月4日開催した。



左から 当 会 理 事 長 筒井 数三
前中国地方更生保護委員会委員長 清水 和夫
(社)全国保護司連盟会長 谷川 和穂
当 会 副 理 事 長 福井 大海

左から ライ・ハスロー氏、オユンナ氏、山口由里子氏

☆第8回更生保護
「チャリティー音楽のタベ」開催
平成18年2月24日 午後6時

☆第5回更生保護
「チャリティーミニ絵画展」開催
平成17年11月28日より



平成16年度収支計算及び平成17年度収支予算

(収入の部)

(単位 円)

項 目	平成16年度決算額	平成17年度予算額	項 目	平成16年度決算額	平成17年度予算額
補 助 金 収 入	452,000	450,000	財 産 収 入	2,015,144	1,000,000
国庫補助金収入	0	0	利息及び配当金収入	2,015,144	1,000,000
地方公共団体補助金収入	0	0	会 費 収 入	7,209,000	7,300,000
助 成 金 収 入	452,000	450,000	会 費 収 入	7,209,000	7,300,000
寄 附 金 収 入	10,796,000	10,400,000	特 別 会 計 繰 入 金	0	0
篤志者寄附金	170,000	1,300,000	特 別 会 計 繰 入 金	0	0
共同募金分配金	700,000	600,000	雑 収 入	14,000	10,000
役員等寄附金	8,176,000	7,000,000	雑 収 入	14,000	10,000
その他の寄附金	1,750,000	1,500,000	収 入 合 計	20,486,144	19,160,000

(支出の部)

項 目	平成16年度決算額	平成17年度予算額	項 目	平成16年度決算額	平成17年度予算額
一 時 保 護 事 業 費	726,696	954,000	大 会 費	300,000	0
事 務 費	150,000	154,000	報 償 費	308,279	300,000
給 料 手 当	150,000	150,000	調 査 研 究 費	100,000	100,000
通 信 運 搬 費	0	0	そ の 他	53,228	30,000
消 耗 品 費	0	0	顕 彰 式	0	180,000
印 刷 製 本 費	0	0	助 成 費	7,170,795	6,090,000
雑 費	0	4,000	継 続 保 護 事 業	1,453,795	1,300,000
金 品 給 与 費	576,696	800,000	一 時 保 護 事 業	100,000	100,000
金 品 給 与 費	576,696	800,000	保 護 司 活 動	3,040,000	2,530,000
連 絡 助 成 事 業 費	14,490,038	12,716,000	更 生 保 護 女 性 会	1,062,000	1,000,000
事 務 費	3,495,711	3,361,000	B B S 活 動	560,000	260,000
給 料 手 当	1,850,000	1,850,000	そ の 他	955,006	900,000
雑 給 与	723,562	700,000	管 理 費	3,687,079	3,454,000
福 利 厚 生 費	408,897	380,000	給 料 手 当	500,000	500,000
旅 費 交 通 費	152,170	150,000	退 職 手 当	192,000	204,000
通 信 運 搬 費	156,591	150,000	会 議 費	436,798	400,000
消 耗 品 費	36,892	31,000	交 際 費	94,390	100,000
備 品 補 修 費	0	0	旅 費 交 通 費	232,090	230,000
減 価 償 却 費	0	0	通 信 運 搬 費	170,237	150,000
印 刷 製 本 費	71,988	40,000	消 耗 品 費	10,222	10,000
雑 費	95,611	60,000	印 刷 製 本 費	46,042	50,000
啓 発 費	1,934,625	1,600,000	備 品 補 修 費	0	0
啓 発 費	1,934,625	1,600,000	賃 貸 料	740,964	700,000
連 絡 調 整 費	1,888,907	1,665,000	水 道 光 熱 費	142,632	130,000
継 続 保 護 事 業	40,300	30,000	雑 費	1,121,704	980,000
一 時 保 護 事 業	0	10,000	積 立 金	1,550,000	1,500,000
連 絡 助 成 事 業	53,000	20,000	積 立 金	1,550,000	1,500,000
保 護 司 活 動	422,615	215,000	予 備 費	0	536,000
更 生 保 護 女 性 会	100,000	100,000	予 備 費	0	536,000
B B S 活 動	100,000	160,000			
協 力 雇 用 主 会	0	100,000			
機関紙(誌)発行費	411,485	420,000	支 出 合 計	20,453,813	19,160,000

平成16年度 事業成績

更生保護事業

(1) 一時保護事業

(単位 円)

項 目	助 成 理 由	金 額
一時保護事業	金品給与費199件	576,696
合 計		576,696

(2) 連絡助成事業

ア 更生保護法人等に対する助成などに関する事項

更生保護の名称	助成内容	助成金額
(関)ウィズ広島・呉清明園	施設運営費など	1,453,795
(関)ウィズ広島・呉清明園	一時保護事業	100,000
合 計		1,553,795

イ その他の事項

1 助 成 先	助成内容	助成金額
広島県保護司会連合会	事業活動費	575,000
地区保護司会	事業活動費	2,465,000
地区更生保護女性会	事業活動費	1,062,000
広島県BBS連盟	事業活動費	560,000
その他の助成(福山地区更生保護協会他2)	事業活動費	955,000
合 計		5,617,000

(広島県共同募金配分金充当 〃一時保護事業)
〃BBS活動

2 項 目	内 容	金 額
継続保護事業連絡調整費	連絡会議等	40,300
連絡助成事業連絡調整費	協議会等	53,000
保護司活動連絡調整費	研修会等	422,615
更生保護女性会活動連絡調整費	研修会等	100,000
BBS活動連絡調整費	研修会等	100,000
その他の調整費	関係機関協議会等	53,228
合 計		769,143

(3) その他連絡助成以外の事業

項 目	内 容	金 額
機関紙「会報」発行	第15号発行 3,800部	411,485
啓 発 活 動	第54回社明運動助成・企業啓発・チャリティコンサート・絵画展等	1,934,625
調 査 研 究	処遇研究会開催経費他1	100,000
広島県更生保護大会	開催経費助成等	300,000
表彰・協力事項	表彰及感謝状伝達記念品等	308,279
事業積立金	不動産取得準備金など	1,550,000
合 計		4,604,389

平成17年度の主な事業

I 運営に関する事項

当協会の定款第三条に定める目的に従い、同第四条に列記された各事業が円滑に行えるよう運営していく。このため、全県下の各層に働きかけ、更生保護思想の普及を期すとともに、会員の募集並びに篤志寄附者の発掘を行い資金の充実を図る。

II 事業の実施に関する事項

「一時保護事業」

当協会の定款第三条に定める目的に従って一時保護事業を行い、特に法により援助保護のできない者に対して金品を給与し、その者の更生を援助する。

「連絡助成事業」

- (1) 更生保護事業を営む者に対する連絡、調整又は助成
- (2) 保護司活動に対する連絡、調整又は助成
- (3) 更生保護に関する民間協力団体組織に対する連絡、調整及び助成
- (4) 犯罪予防を図るための世論啓発その他の活動
- (5) 更生保護事業に関する調査研究及び資料の

刊行

(6) 関係機関・団体との連絡協議

「その他の事項」

- (1) 平成17年度に開催される広島県更生保護大会に参加・協力・援助。
- (2) 保護司及び民間協力者の表彰に対し、記念品の贈呈。
- (3) 更生保護法人中国地方更生保護協会の運営に対する援助協力。
- (4) 機関紙「会報」第16号の発行。
- (5) その他協会の事業目的達成に必要と認められる事業の実施。

関係機関との交換会

平成一六年一月三〇日、リーガロイヤルホテルにて、当会簡井理事長は、(前)広島地方検察庁 総務部長 吉田幸久氏、(前)広島県警少年サポーターセンター所長 松宮祐一氏、広島保護観察所 振興課長 嘉屋進氏を招いて幅広い見地に立った事業の取り組みについて意見交換を行った。

会報美術館

特集号“倉橋風景”
(倉橋町の丘より)



新制作協会協友
伊藤 茂弘 画

特集号“宮島祭”
(大野町より)



第3号“ほほえみ”



光風会評議員
北田 和広 画

第4号“三段峡”



光風会評議員
北田 和広 画

第5号“アジア大会会場”



光風会評議員
北田 和広 画

第6号“花の思い”



光風会会員
石田 克彦 画

第7号“蘭”



岡本 厚子 画

第8号“光と風の中で(りんどう)”



光風会評議員
北田 和広 画

第9号“パートナー”



光風会会員
石田 克彦 画

第10号“燦々”



光風会評議員
北田 和広 画

第11号“初夏の語らい”



光風会会員
石田 克彦 画

第12号“蘭舞”(らんぶ)



光風会評議員
北田 和広 画

第13号“窓辺の彩り”



光風会評議員
北田 和広 画

第14号“紅輝”



光風会評議員
北田 和広 画

第15号“清楚”



光風会評議員
北田 和広 画

雪の林間
(第53回杜南絵画展出品)



日本水彩画会会員 福井 大海 画

ある日のスケッチ
(因島大橋)



中国地方更生保護委員会 委員長 小畑 哲夫 画

更生保護法人
広島県更生保護協会
会報 第16号

〈編集発行〉
更生保護法人
広島県更生保護協会
〒730-0012
広島市中区上八丁堀3番6号
TEL (082) 221-4585
FAX (082) 221-4592
Eメール hogo@d9.dion.ne.jp

第16号編集委員
宮本 克彦・佐々木良子
谷尾 範子・桜井 武子

みんな一緒に
生きていく。
**赤い羽根
共同募金**

10月1日 ▶ 12月31日



長年に亘る功績を偲び謹んでご冥福をおいのりいたします。
平成一七年四月二一日
前会長の岡本繁氏の逝去

計
報